

『BGM コーディネーター試験提出課題』
外国人観光客も利用するフードコート共用スペースのBGM提案

2015年の新語流行語大賞にもなった「爆買い」。昨今、爆買い特需も落ち着いたと報道されることも増えてきましたが、2020年の東京オリンピック効果もあり、外国人観光客の数は増加し続けています。各自治体や企業が多言語対応を進める中、ショッピングモールなどの商業施設においても外国人観光客に向けて様々なサービスを試み始めています。昨今では物品の購入はもとより、買い物途中に休憩・飲食を行う方も増えています。

そこで、200名程度を収容するショッピングモール内のフードコートを想定し下記の条件で、BGMの運用提案を行なってください。

『資料』

フードコートの広さ：500 m²

フードコートの収容人数：200人

フードコート営業時間：午前10時から午後10時

フードコートの場所：東京湾岸エリアのショッピングモール内の一区画（屋内のみ）

フードコート内レストランのラインナップ：和洋中をはじめとした多国籍ラインナップ

フードコート基準放送設備：非常放送兼用業務放送設備

『課題』

・上記のフードコート共用スペースに対し音楽著作権を踏まえてBGMの提案を下さい

・提出フォーマット

A4 5ページ以内 ワード、エクセル、パワーポイントまたはpdf形式によるデータ提出（文字サイズについては制限しないが、フォントについては自動変換する場合があります）

・記入事項

氏名 会社名

BGM運用コンセプト

BGM運用プログラム

BGMのソース

運用費用概算

基準放送設備以外を利用する場合はその機器を記入

・提出期限

平成29年3月8日(水)まで

・提出先

BGM協会事務局 Email sugiyama@mf-j.co.jp

※なお、提出いただいた内容は、協会ホームページ会員社専用ページ内で掲示する場合があります。